

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（音）

<テーマの設定理由>（テーマに関する 子ども の興味関心、 園の特色 など）

いろいろな音に触れ体全体で表現することを楽しむ。自然の音を感じいろいろな音色に興味を持ち音を奏でたり、自然物（木製）から作った楽器に触れ温かみのある音を聴き乳児クラスならではの演奏を楽しむ。

2. 探究活動の実践

		対象クラス・対象人数							
実施日		0歳児 クラス (人)	1歳児 クラス (人)	2歳児 クラス (人)	3歳児 クラス (人)	4歳児 クラス (人)	5歳児 クラス (人)	地域 子ども (人)	地域 大人 (人)
①	7月22日			16					
②	7月25日		15						
③									
④									
⑤									

活動内容
2歳児：様々な楽器（ギロ・太鼓・シロフォン・ウッドブロック・トロムメイル）を準備する。導入として山の音楽家の絵本を読み興味が持てるように進めていく。子どもたちにそれぞれの楽器を見せて、どんな音が鳴るか聞き子どもたちの答えをもとに実際に音を鳴らしてみる。その後一つ一つの楽器に触れ、それぞれの音の違いを感じた。子どもたちが楽しんでいる所で子どもたちの知っている曲【かえるの歌】をピアノで弾くとメロディに合わせ持っている楽器を鳴らした。
1歳児：大中小様々な石・ペットボトル・タライ・子供用バケツ・スコップを準備。初めにペットボトルに石の大きさごとに石を入れマラカスとして楽器遊びをする。【おもちゃのチャチャチャ】を歌うとその歌に合わせて歌いながらマラカスを鳴らし楽しむ。その後タライに全部の石を入れ触って感触を楽しむ。子ども一人一人にバケツとスコップを渡し、石をすくってバケツに入れ、石の音を楽しむ。石が落ちるときの音、石と石がぶつかり合う時の音、転がった時の音など色々な音に関心を持ち奈度も何度も繰り返して行う。

1歳児：

- （活動のためにどのような環境を設定したか、準備した 素材や道具）
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。
- （活動の内容、活動中見られた 子 ども の姿、 教諭 との関わり 等）

活動におけるチェックリスト	
グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。	○
活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。	○
乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。	○
記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。	○
幼稚園・保育所等の各施設の教諭数値・保育者所同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。	○
次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。	○

活動の様子が分かる写真 2 枚 以上 を貼付 してください。

(HP など で 公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



3. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

2歳児：楽器に触れる機会がなかったこともあり、全員の子どもたちがいろいろな楽器に触れ、いろいろな音の違いを感じてとても楽しんでた。叩き方の強さは一緒にやりながら伝えていけたらと思う。また、ピアノを弾いてみると、子どもたちもその曲に合わせてリズムをとって音を鳴らしていたのでこれからも子どもたちが知っている曲を弾き楽しんでいきたいと思う。まだ使っていない楽器もあるので音の違いを感じられるように活動していきたい。

1歳児：保育室にも手作りのマラカスがあるが、あまり興味を持っていないように感じていたが、今回石を使ったことでほとんど全員の子どもたちが興味を持ち手にしていたことを考えると、身近なものを活用したほうが楽しめるのではないかと感じた。また、石を使った感触遊びでは、石がぶつかったり、落とした時に出る大きな音にも反応し、何度も繰り返して音を楽しむ様子が多くみられた。音楽の他にも音を楽しむ遊びが見つけれれたことは今後の保育活動に活かしていきたい。

4. 今月の購入実績

注文日	項目	費用（税込）	購入方法
7月8日	ステップシロフォン		
7月16日	片栗粉	5,240	Amazon
7月16日	金魚の砂利	573	Amazon
7月16日	川砂利	2,562	Amazon
7月17日	シロフォン用木球		
		8,375	

記入日：	2025/8/5
記入者：	大家崇 後藤真名美